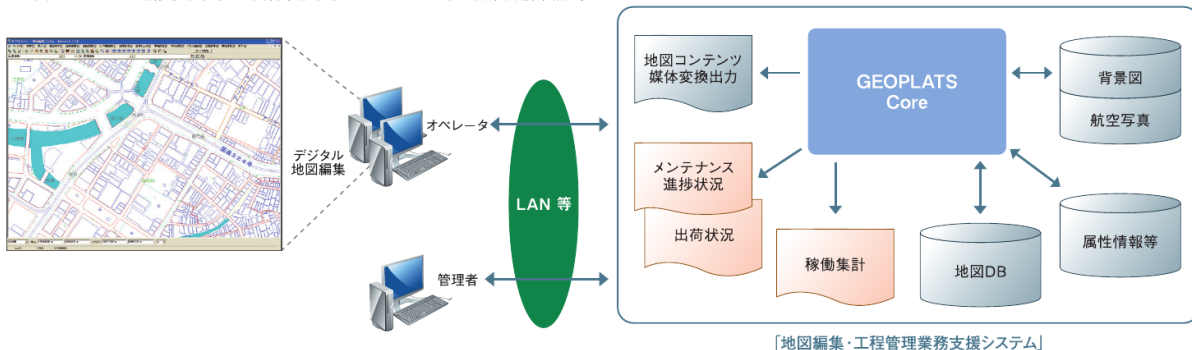


CASE 1 地図編集・工程管理業務支援システム

Core

大規模データベース・高速描画対応の地図編集業務及び工程管理業務を支援します。オペレータ毎の稼働集計等の付帯業務の支援にも対応できます。

- ・デジタル地図編集・地図コンテンツ媒体変換出力 (DXF、Shape等)
- ・地図メンテナンス進捗状況把握・出荷状況把握・オペレータ毎の編集実績集計等



【システム導入による効果】

- 地図編集を行うための機能が充実していることで、スムーズな地図編集が行え、業務効率が高まります。
- 工程毎に多くの人員が関わる地図作成業務において、進捗状況の把握やオペレータ毎の稼働集計・管理が可能です。

CASE 2 防災支援システム

i Lite

防災関係機関から登録される地点毎の被害情報をもとに、いつ、どこで、どのような災害が発生しているかを関係者と共有することができます。



【システム導入による効果】

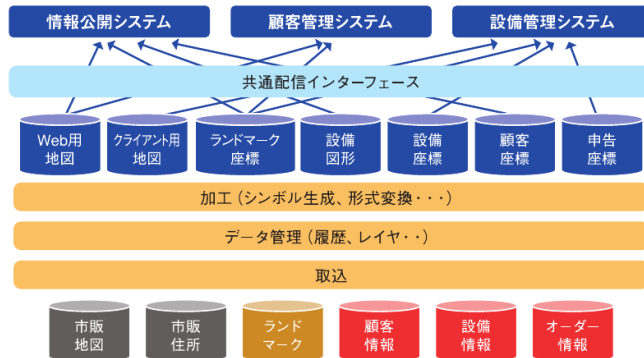
- 災害発生時の震度情報、気象情報等をもとに各地の被害状況を予測し、大規模災害時にもっとも重要な初動体制の確保を支援します。
- 被害地点の情報と避難所や病院などの防災基礎情報を地図上に合わせて表示することで、けが人の搬入先の決定等、迅速で正確な意思決定を支援します。
- 防災関係機関間のリアルタイムな情報共有を実現し、広域的な災害対応を可能とします。

CASE 3 設備保全業務向け地図共同利用化システム

Server

地図データや住所データなどのコンテンツと加工変換・配信管理の仕組みを共同利用するシステムです。

コンテンツを一元的に取込・加工変換し、複数のユーザー・システムの要求に応じた配信をすることができます。



【システム導入による効果】

- ハードウェアとソフトウェアの冗長や重複がなくなり、イニシャルとランニングコストの低減を実現できます。
- データの過不足や重複、同期の不整合が解消されます。
- ユーザー・システムの要求に応じた様々なコンテンツとインターフェースが提供できます。